

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	たてしなの恵み利用拡大事業
事業主体 (連絡先)	立科町 0267-56-2311 (代表)
事業区分	(6) 産業の振興及び雇用の拡大に関する事業 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	405,060円 (うち支援金: 303,000円)

事業内容

- たてしなの恵み利用店認定制度の実施
- 認定マークの作成
- 宣伝品 30セットを購入し、(黒板(大・小)・ペンセット・認定マーク) 認定店へ無償貸出し。
- 本事業の説明や、認定店を紹介するリーフレット 12,000部を作成し、町内外へ配布



【宣伝品 貸出セット活用イメージ】
黒板(大・小)、認定マーク、ペンセット

【目標・ねらい】

- ①認定店の増加
- ②町産農畜産物の取扱割合の増加
- ③耕作放棄地の発生防止 (現状維持)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

目標: ①認定店の増加
目標年度 H27 40店舗
実績 22店舗

目標: ②町産農畜産物の取扱割合の増加
各認定店より、町産農畜産物を使用した新たなメニューづくりや、取扱品目を増やし PR していく報告があった。

目標: ③耕作放棄地の発生防止 (現状維持)
現状維持

※自己評価【 B 】

【理由】
認定店では町産農畜産物を利用していることが PR でき、今後も新たに取り扱いを増やす予定となっている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

リーフレット等で周知を行い、当町への誘客も図り、町産農畜産物の美味しさ等を各認定店で PR していただき、直売所等への収益へ繋げることで農家所得の向上としたい。

また、本年度の取組活動から、新たな認定希望事業所については柔軟に対応し、たてしなの恵みの利用拡大を図っていききたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある